

質問票

【パープルフラッグ等、イギリス全般の施策や組織に関する質問】

- ①パープルフラッグの詳細な認証基準を知りたい。
認証に4ヶ月を要するそうだが、どのような審査をするのか。

【以下、Association Of Town Centre Management 回答】

パープルフラッグは、申請から認定証とフラッグが手渡されるまで約半年かかる。申請団体は、認定を支える5つの主要テーマ（「Wellbeing」「Movement」「Appeal」「Place」「Policy Envelope」）の基準に達していることを証明する証拠を申請の際に提出する。私たちは、この期待される証拠がどのようなものかを記載した「core agenda chart」を用意している。申請団体は、訓練を受けた審査員2名による夜通しの訪問によって評価され、審査員はその場所に関わる関係者に会うとともに、エリア内を歩き回る。これによって、提出書類がその申請団体を正確に表しているかどうかを分析し、改善点を提案したり、ベストプラクティスを認識したりして、その申請団体が基準を満たしているかどうかを助言することができる。その後、申請者の提出書類と審査員の報告書の両方から提示されたすべての証拠をもとに、委員会が最終決定を下す。

質問票

②手数料を払ってまでパープルフラッグの認証を得たいと思えるだけの魅力は何か。
申請者や市民はパープルフラッグのどのような点を魅力に感じているのか。

パープルフラッグに参加する理由は複数ある。主な動機としては、様々なセクターの関係者が参加しなければ成功しないため、地域のパートナーシップをより強固なものにすることなどが挙げられる。さらに、地域の知名度を上げ、その地域を改善するために参加する団体もある。例えば、学生の多い地域は、受験生にとって安全な場所となるよう努力することを証明するために、認定のステータスを利用している。地域の団体は審査員や委員会からフィードバックを受けることで、ナイトタイムエコノミーを継続的に改善することができる。また、パープルフラッグに参加することで犯罪が減少したという報告もある。

質問票

③パープルフラッグとナショナルパブウォッチ、パブイズザハブの各団体の役割の違いは何か。

○パープルフラッグの役割

パープルフラッグは、パブウォッチのように会場を対象とするものではなく、町や市を対象としている点が他団体と異なる。申請者はパブウォッチの認定があることを証拠として提出することができるが、それは必須条件ではない。

○ナショナルパブウォッチの役割

【以下、クレアロンドン事務所調査員調べ】

英国では、パブウォッチは中央集権的な組織ではなく、通常、パブやバーのオーナーといったアルコール販売者、その他の接客業界の関係者によって地域レベルで設立・運営される自発的な計画や取り組みである。パブウォッチの主な役割は、地域社会における安全で責任ある飲酒環境を促進することである。パブウォッチの計画にはいくつかの一般的な目的と機能がある。

・反社会的行為の削減

パブウォッチ認定団体は、暴力、秩序を乱す行為、破壊行為などの反社会的行為を、酒類販売店内やその周辺で特定し、対処するために協力している。他の店舗で同様の事件が起きないようにするため、ある店舗で問題を起こした人物に関する情報を共有している。

・トラブルメーカーの排除

パブウォッチ認定団体は、迷惑行為や違法行為に関与した個人を、パブウォッチに参加するパブやバーへの入店の禁止を決定することができる。この排除はしばしば「禁止」または「排除命令」と呼ばれる。

・情報の共有

パブウォッチのメンバーは、事件、問題のある常連客、セキュリティ上の懸念事項に関する情報をメンバー間で共有している。この情報交換により、アルコール販売者やそのスタッフは常に情報を入手し、適切な予防措置を講じることができる。

・法執行機関との協力

パブウォッチは、パブやバーがアルコールに関する法律を遵守するよう、地元の法執行機関と協力している。また、必要に応じて警察に事件を報告し、捜査を支援することもある。

質問票

・トレーニングとサポート

いくつかのパブウォッチ認定団体は、責任あるアルコール提供、紛争解決、偽 ID の識別などのトピックについてメンバーにトレーニングとサポートを提供している。

・責任ある飲酒の推進

パブウォッチは、責任ある飲酒を促進し、過度のアルコール消費を抑制するための取り組みやキャンペーンを企画することがある。

パブウォッチの具体的な機能や活動は、地域によって異なる可能性がある。一般的にボランティアによって運営され、地域の事業所の協力を依存しているため、その効果や活動レベルは地域の優先事項や状況によって異なる可能性がある。

○パブイズザハブの役割

パブイズザハブはイギリスで活動する非営利団体で、地元のパブを通じて地方のコミュニティ・サービスを支援し、多様化させることに特に重点を置いている。その主な役割は、地方のパブがコミュニティ・ハブとしての役割を拡大することで、単なる飲み屋以上の存在になるよう支援することである。

パブイズザハブの主な役割と活動は以下の通り。

・コミュニティ・サービス

パブイズザハブは、地方のパブが、遠隔地やサービスが行き届いていない地域に不足している様々なコミュニティ・サービスや施設を提供できるよう支援する。これらのサービスには、郵便局、村の商店、図書館、カフェ、パブ内のミーティングスペースなどが含まれる。

・多様化

パブのオーナーなどアルコール販売者に対し、地域社会のニーズを満たすため、提供するサービスを多様化するよう働きかける。これには、必要不可欠なサービスを提供するために、他の地元企業や団体、個人と協力することも含まれる。

・支援と資金調達

パブイズザハブは、サービス拡大を目指す地方のパブのオーナーに対し、指導、支援、資金調達の利用方法を提供している。潜在的な機会の特定、規制要件の案内、財政的支援の確保などを支援する。

・プロモーション

サービスの多様化に成功した地方のパブの活動を宣伝する。これにより、集客を促進し、パブが地域社会で果たす重要な役割についての認識を高めることができる。

質問票

・サステナビリティ

地方のパブが収益源を多様化し、顧客基盤を拡大することで、より財政的に持続可能になるよう支援することを目標としている。この目標は、パブのビジネスやコミュニティの存続に貢献することができる。

・社会的関与

パブイズザハブは、農村部のパブが地域社会を結びつける社会的・文化的意義を認識している。コミュニティ・ハブとしてのパブの役割を強化することで、パブイズザハブは農村部における社会的交流を促進し、社会的孤立と闘うことを目指している。

パブイズザハブは全体として、地方のパブが、従来のパブのサービスを提供するだけでなく、必要不可欠なサービスやサポートを提供することで、活気に溢れ、地域社会に不可欠な存在であり続けられるよう取り組んでいる。彼らの努力は、地方ビジネスの持続可能性と地方コミュニティの福祉に貢献している。

○三団体に協力関係はあるのか

協力関係に無い。

質問票

【ロンドンのナイトタイムエコノミー政策に関する質問】

①ロンドンのナイトタイムエコノミーにおける、全年齢層のための文化的なアトラクション等とは具体的にどのようなものが実施されているか。

【以下、London & Partners 回答】

<https://www.visitlondon.com/things-to-do/nightlife/101-things-to-do-at-night-in-london>

質問票

② 11月に民間および公的機関がロンドンで開催する予定のナイトタイムの文化的なアクションを教えてください。

以下をご参照ください。

<https://www.visitlondon.com/things-to-do/whats-on/special-events/london-events-calendar>

質問票

③ナイトチューブの運行によるタクシー等の民間同業種の影響や反発はなかったか。

無かった。(The Licensed Taxi Drivers' Association はナイトチューブを支持している。)

(参考)

<https://www.standard.co.uk/news/transport/night-tube-black-cab-drivers-call-for-more-taxi-ranks-outside-stations-served-by-24hour-service-a3321406.html>

<https://www.ltda.co.uk/>

ナイトチューブは、世界で最も広範な夜行バスネットワークを補完するものであり、夜間に働く 140 万人が首都を安全に移動できるようにすることで、人々のロンドンでの生活を 24 時間支えている。パンデミック後にナイトチューブが再開されたときの Tfl のプレスリリースが参考になるかもしれない。

より一般的には、Night Czar と私のチームがロンドンの夜の生活を支援するために現在行っている活動には、以下のようなものがある：

- ・ロンドンの行政区による夜間戦略の策定支援
- ・3つのナイトタイム・エンタープライズ・ゾーンへの資金提供
- ・「Business Friendly Licensing Fund」を通じた事業回復の支援
- ・「Women's Night Safety Charter」を通じた、ロンドンを女性と女兒にとって夜間でも安全な都市にするための支援

「wider 24 Hour London Programme」については、以下をご参照ください。

<https://www.london.gov.uk/programmes-strategies/arts-and-culture/24-hour-london>

(参考)

- ・Tfl プレスリリース

<https://tfl.gov.uk/info-for/media/press-releases/2021/october/night-tube-to-return-next-month-to-support-economic-recovery-and-night-safety-in-the-capital>

- ・Night Czar

<https://www.london.gov.uk/programmes-strategies/arts-and-culture/24-hour-london/night-czar>

- ・night time strategies

<https://www.london.gov.uk/programmes-strategies/arts-and-culture/24-hour->

[london/night-time-strategy-guidance](#)

- Night Time Enterprise Zones

<https://www.london.gov.uk/programmes-strategies/arts-and-culture/24-hour-london/night-time-enterprise-zones>

- 'Business Friendly Licensing Fund'

<https://www.london.gov.uk/programmes-strategies/arts-and-culture/24-hour-london/business-friendly-licensing>

- 'Women's Night Safety Charter'

<https://www.london.gov.uk/programmes-strategies/arts-and-culture/24-hour-london/womens-night-safety-charter>

【リバプールのナイトタイムエコノミー政策に関する質問】

①観光地として、文化施設や歴史的建造物をナイトタイムエコノミーにどう活かしているか。

どうやって観光客を夜間消費と結び付けているか。

【Liverpool BID Company 回答】

文化的建造物や史跡に関して、市中心部を調査してみると、近年、市中心部の主要な場所にある歴史的な通りの多くで、銀行や政府機関、役所などに使われていた古い歴史的建造物が、ホテルやバー、レストランなどのホスピタリティ施設として再利用されている。

市内には、次のような調査対象として興味深い主要な通りがある：**Bold Street / James Street / Water Street / Castle Street** など。

前述した重要な通りであり、その好例であるのが、**Castle Street**（キャッスル・ストリート）である。

キャッスル・ストリートは、リバプールの世界遺産の中心にある。13世紀以降の地図に登場する、リバプールの7つの古い通りのひとつである。この通りは中世の市場が開かれた場所で、この時代の目印であるサンクチュアリー・ストーンが今も残っている。この通りは、国内で最も素晴らしいビクトリア朝時代の街並みのひとつとして知られており、タウンホールと旧イングランド銀行の2つのグレードI指定建造物がある。また、17のグレードII指定建造物もある。

現在のキャッスル・ストリートを見ると、最も賑やかで活気のある道路のひとつであることが分かるだろう。キャッスル・ストリートは、街に向かう人々や人気のバーやレストランに集まる人々にとって、よく知られた道である。世界遺産だけでなく、飲食店や屋外席によってヨーロッパのカフェ・スタイルの雰囲気を出し、素晴らしい未来を創造している。古い建物を再利用するというこのテーマは、町の中心部を通じて、遺産と現代的な装飾をミックスさせ、魅力的な場所として成長し続けている。

もう一つの興味深い点は、**Culture242** が運営し、主にアーツカウンシル・イングランドが資金を提供する「**Museums at Night**」である。これは、5月の週末に開催される、文化と遺産の年に一度の営業時間外のフェスティバルである。これは、芸術と博物館セクターのための展示キャンペーンであり、会場が観客を惹きつけるために何か違ったことをする機会を提供するものである。

観光客はNTEとどのようにつながっているのか

(参考)

<https://theguideliverpool.com/liverpool-nightlife-night-time-economy-overtakes-london-in->

[post-pandemic-recovery/](#)

リバプールは、その活気あるナイトライフで全国的に知られており、国内外から観光客が訪れている。リバプールのナイトタイムエコノミーは、ビートルズや他の多くのメジャーなアーティストや歌手との歴史的な過去があるため、音楽シーンで有名である。有名な音楽を通じて、魅力的な提案ができることに誇りを持っている。リバプールは、多くの学生、カクテルが好きな人々、国際的なアーティストの特別な DJ イベント、カラオケバーから 50 年代、60 年代、70 年代などを再現するバーまで、すべての年齢層を魅了している。この街は、多彩なナイトライフを楽しむために、新郎・新婦が開催するパーティーに全国的に多くの友人グループ、家族グループや企業イベントを惹きつけている。

音楽シーンだけでなく、リバプールはサッカーチーム、海洋の歴史、地元のフレンドリーな文化で有名であり、これは多くの宿泊施設オプションで利用可能な広いベッドスペースを使用して市内中心部に滞在し、訪問する観光客経済にも結びついている。当然のことながら、これはホスピタリティ・セクターにも波及し、リバプールはバーやクラブだけでなく、さまざまなレストランや飲食店が賑わい、観光客経済を最大化している。

リバプールでは、独立系の風変わりなバーから世界的に有名なフランチャイズ店、その他あらゆるものが、ナイトタイムエコノミーの繁栄を創出している。最近、リバプールがパンデミック後の復興においてロンドンをリードしていることが報告されている。

(参考)

<https://www.onthewaterfrontfestival.com/about>

リバプールの象徴であるピアヘッドでは、夏の野外フェスティバルで 1 回につき 1 万 5000 人を動員する大規模なイベントも開催されている。ピアヘッドのさらに先、ウォーターフロント沿いのそれほど遠くないところに M&S バンク・アリーナがある。M&S バンク・アリーナは、英国で最も権威ある会場のひとつである。このアリーナは、2008 年、欧州文化首都としてのリバプールの立ち上げイベントとともにオープンした。ACC リバプール・グループの一つであり、次世代のイベント会場のひとつとして建設されたこのアリーナは、注目度の高い世界的なイベントを開催し、忘れられない思い出を作り出した実績がある。

M&S バンク・アリーナで開催されるイベントについては、イベントを訪れるだけでなく、その間のナイトタイムエコノミーに参加する多くの観客を惹きつけている。

同じことがリバプールの多くの劇場にも言える。都心にある合計 8 つの劇場は、ナイトタイムエコノミーに直結し、リードしている。

(参考)

<https://www.mandsbankarena.com/whats-on/>

質問票

リバプールは、その多くの施設が中心部にあることで、劇場で数時間過ごしたり、徒歩圏内のバーで過ごしたりして、同時に様々なオファーを利用することができる。これは、中心部の多くのイベントやエリアに当てはまる。そして最後に、この街に大きな影響を与え、世界的なレガシーを築いたユーロビジョンというイベントについても触れておく。

(参考)

<https://www.cityrise.co.uk/impact-of-eurovision-in-liverpool/#:~:text=In%20all%2C%20the%20impact%20of,and%20host%20large%2Dscale%20events.>

【以下、クレアロンドン事務所調査員調べ】

以下サイトをご参照ください。

市内の見どころについて

<https://marketingliverpool.co.uk/2023/09/06/liverpool-city-region-visitor-map-2023/>

ビジター・エコノミー戦略に関して：

(Liverpool BID Company のWEB サイトより)

<https://liverpoolbidcompany.com/liverpools-night-time-economy-2023/>

(MAKE のWEB サイトより)

<https://www.makeassociates.com/liverpool-city-council-night-time-economy-strategy-designing-out-crime>

(Visit Britain のWEB サイトより)

https://www.visitbritain.org/sites/default/files/vb-corporate/Documents-Library/documents/England-documents/evening_night_time_economy.pdf

(The GUIDED LIVERPOOL のWEB サイトより)

<https://theguideliverpool.com/liverpool-nightlife-night-time-economy-overtakes-london-in-post-pandemic-recovery/>

質問票

②City Watch について、監視社会への懸念、プライバシー配慮の問題などをどのようにクリアしたか。

また導入・整備に係る費用と、ランニングコストはいくらか。

【Liverpool BID Company 回答】

シティ・ウォッチ取り組みの概要

406 台のカメラを使用するシティ・ウォッチは、犯罪の防止、抑止、発見を目的とし、治安と安心感の向上を目指している。

カメラは、1998 年犯罪・無秩序法に基づいてつくられたパートナーシップで働くカウンシルの職員と警察官によって、1 日 24 時間、1 年 365 日監視されている。これらの職員は全員、警備業監督委員会の基準に基づいて訓練されている。

シティ・ウォッチは、地理的データ、個人データ、時には機微なデータを含む CCTV データを収集している。法律上明確な根拠があり、公共の利益に資する場合、または公務を円滑に進めるために必要な場合に限り、以下の組織とデータを共有する。

- Merseyside Police, other national police forces and security agencies
- Liverpool City Council departments
- Other local authorities
- Merseytravel
- North West Ambulance Service
- Merseyside Fire and Rescue Service
- Liverpool One
- Liverpool Business Improvement District
- その他、公共の安全のために必要と認められるパートナー

データは英国の安全なサーバーに最長 2 年間保存される。また、月曜から金曜は午後 7 時から午前 7 時まで、土曜、日曜、法定休日は 24 時間、交通カメラを監視している。さらに、シティ・ウォッチの警官は、身体装着型 CCTV と CCTV 対応車両を使用して、事件に対応し、市内をパトロールしている。コントロール・ルームのオペレーターは全員、Security Industry Authority の基準を満たす訓練を受け、認定されており、公共スペース CCTV オペレーターの免許を取得している。資金調達の情報については、city_watch@liverpool.gov.uk 宛てに電子メールを送る必要がある。

質問票

添付の資料（citywatch-data-protection-impact-assessment-surveillance-camera-scheme-2021）は影響評価の概要だが、ご質問の件に関連し、最後の市民意識調査の詳細が記載されているため、6項目を抜粋した。

（以下、添付資料より抜粋）

6. 監視の対象となる人々の意見は？

CCTVは市民から広く支持されている。毎年、市民や区議会議員から、自分の居住地域に追加のCCTVカメラを設置して欲しいという要望が多く提出されている。2002年の調査「CCTVに対する市民の意識：CCTV導入地域で実施された事前介入市民意識調査の結果」では、「すべての地域で回答者の高い割合（全体で82%）がCCTVの設置に『満足』していると回答しており、その影響に対する期待も高かったことが示された。居住地域の回答者の80%が、CCTVがその地域の犯罪を減少させると考え、63%が、地域でうろつく若者が減ると答え、69%が、人々がより多くの事件を報告すると答え、56%が、警察がより迅速に対応するだろう」と答えた。

さらに、LCCが2021年に実施した調査（Liverpool City Centre Perception Survey）では、市民の安全意識を高めるためにCCTVを設置・利用することへの支持が示された。